



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 日本KFCホールディングス株式会社
 コード番号 9873 URL <https://japan.kfc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-307-0700

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	21,393	3.0	21	98.5	277	87.4	171	87.1
2022年3月期第1四半期	22,055	11.6	1,431	11.0	2,200	303.4	1,326	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 158百万円 (87.9%) 2022年3月期第1四半期 1,307百万円 (922.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	7.66	
2022年3月期第1四半期	59.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	44,348	26,130	58.9	1,169.72
2022年3月期	47,761	26,750	56.0	1,197.62

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 26,130百万円 2022年3月期 26,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		25.00		35.00	60.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当25円00銭 特別配当10円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,200	3.8	4,800	21.4	4,800	30.8	2,900	36.4	129.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、算出していないため記載しておりません。詳細は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	22,423,761 株	2022年3月期	22,423,761 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	84,678 株	2022年3月期	87,544 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	22,336,934 株	2022年3月期1Q	22,358,167 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数増加に一定の歯止めがかかり回復基調にあるものの、米国金融引き締め政策による急速な円安の進行、ウクライナ情勢の緊迫化、中国国内の新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウンに伴うサプライチェーン停滞などにより、極めて不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、まん延防止等重点措置の解除により緩やかながら売上・客数ともに回復基調が見られるものの、原材料価格、資源価格及び物流費等の高騰により、依然として厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループにおきましては、中期経営計画の2年目にあたり、引き続き積極的な新規出店、ブランド力の維持・向上を目的とした既存店舗の改装促進、お客さまの利便性向上を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を重要施策と位置付けております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力のケンタッキーフライドチキン（以下、「KFC」）でランチメニューの充実を図り、500円のランチメニューにツイスターを加えた「ケンタランチ」を期間限定で発売、また、1,000円、1,500円といった価格帯での「ケンタッキー感謝祭」や「トクトクパック」などお徳感のあるパックメニューを展開いたしました。新商品として、ピリッと辛いペッパーと香り立つ爽やかなレモンの風味を効かせた「ペッパーレモンチキン」や、ボリューム感のあるサンドメニュー「極旨ハムカツフィレサンド」を数量限定で発売いたしました。

KFCでは、おいしさや楽しさにより正直な、いっそう“刺激的”なブランドへのアップデートをするべく、新たに俳優の賀来賢人さんをCMキャラクターとしてお迎えしました。お客さまへ更に魅力的な商品をお届けし、体験価値の向上に今後も取り組んでまいります。

また、緊迫化するウクライナ情勢への支援活動の一環として、全国のKFC店舗において「国連WFPウクライナ緊急支援募金」の受付を3月18日から実施、7月以降も継続しております。

店舗数につきましては、当第1四半期連結累計期間において15店舗（直営2店舗・フランチャイズ13店舗）を出店し、1,183店舗となりました。改装につきましては、41店舗（直営9店舗・フランチャイズ32店舗）実施いたしました。また、配達代行を含むデリバリーサービスの実施店舗は、625店舗となりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症新規感染者数の減少に伴い、外出機会が増えたことによる人流の変化等の影響もあり、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は213億9千3百万円（対前年同四半期3.0%減）、営業利益は2千1百万円（同98.5%減）、経常利益は2億7千7百万円（同87.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7千1百万円（同87.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は34億1千2百万円減少し、443億4千8百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少19億5百万円、売掛金の減少4億3千8百万円及び有形固定資産の減少8億1千7百万円等によるものであります。

負債は27億9千2百万円減少し、182億1千8百万円となりました。その主な要因は、買掛金の減少3億2千8百万円、未払金の減少5億1百万円及び未払法人税等の減少16億8千5百万円等によるものであります。

純資産は261億3千万円となり、前連結会計年度末と比較して6億1千9百万円減少し、自己資本比率は58.9%となっております。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1億7千1百万円及び剰余金の配当による減少7億8千4百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、年間で業績管理を行っているため算出しておらず、通期業績予想のみを算出、開示しております。

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表しました「2022年3月期決算短信」に記載の2023年3月期の通期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,411	18,505
売掛金	5,636	5,198
有価証券	2,000	2,000
商品	442	492
原材料及び貯蔵品	71	72
前払費用	455	578
その他	943	498
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,961	27,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,316	3,290
土地	1,723	966
その他（純額）	1,002	967
有形固定資産合計	6,042	5,224
無形固定資産		
のれん	6	4
ソフトウェア	917	884
ソフトウェア仮勘定	1,286	1,306
その他	0	0
無形固定資産合計	2,211	2,196
投資その他の資産		
投資有価証券	2,800	2,941
差入保証金	4,066	4,031
繰延税金資産	2,367	2,293
その他	360	363
貸倒引当金	△48	△47
投資その他の資産合計	9,546	9,582
固定資産合計	17,799	17,003
資産合計	47,761	44,348

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,970	6,642
未払金	5,605	5,104
リース債務	61	56
未払法人税等	1,738	52
未払費用	548	459
賞与引当金	873	258
役員賞与引当金	91	-
資産除去債務	2	-
契約負債	18	187
その他	782	1,203
流動負債合計	16,693	13,964
固定負債		
リース債務	210	202
退職給付に係る負債	2,190	2,205
株式給付引当金	75	68
資産除去債務	1,164	1,165
その他	676	611
固定負債合計	4,317	4,253
負債合計	21,011	18,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,297	7,297
資本剰余金	9,689	9,689
利益剰余金	9,782	9,168
自己株式	△209	△202
株主資本合計	26,559	25,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	167
為替換算調整勘定	△4	△5
退職給付に係る調整累計額	19	14
その他の包括利益累計額合計	190	177
純資産合計	26,750	26,130
負債純資産合計	47,761	44,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	22,055	21,393
売上原価	12,707	12,903
売上総利益	9,347	8,490
販売費及び一般管理費	7,916	8,468
営業利益	1,431	21
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	63	55
受取協力金	816	90
持分法による投資利益	-	151
その他	10	12
営業外収益合計	891	310
営業外費用		
支払利息	1	1
店舗改装等固定資産除却損	1	2
賃貸費用	44	45
持分法による投資損失	70	-
その他	4	5
営業外費用合計	121	54
経常利益	2,200	277
特別利益		
その他	2	-
特別利益合計	2	-
特別損失		
固定資産除却損	4	0
減損損失	41	-
その他	-	1
特別損失合計	46	1
税金等調整前四半期純利益	2,157	275
法人税、住民税及び事業税	600	25
法人税等調整額	230	79
法人税等合計	830	104
四半期純利益	1,326	171
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,326	171

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,326	171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△7
為替換算調整勘定	0	△0
退職給付に係る調整額	△1	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
その他の包括利益合計	△18	△13
四半期包括利益	1,307	158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,307	158
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社の一部の関係会社においては、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の増加に一定の歯止めがかかりつつあり、外出機会の増加、外国人観光客の受入再開等により、緩やかながらも業績回復の兆候が見え始めております。

当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度の有価証券報告書(重要な会計上の見積り)に記載した内容から、重要な仮定の変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は不確定要素が多く、当連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。